

一般質問通告一覧表

平成30年9月4日（火）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	橋本憲治	40分	防災対策について 長門市では行政主導の下、定期的に大掛かりな防災訓練を行っている。近年、日本各地において大規模な災害が発生しているが、市民の災害に対する意識の高揚を図るため、今後どのような施策を講じられるのかを問う。	市長 部課長	9:30
2	田村哲郎	70分	子育て支援の充実について 本市では、子育て支援を総合的に推進するため、平成27年に長門市子ども・子育て支援事業計画が策定され、この計画に沿って、安心して子育てできる保育環境の整備及び多様化する子育てサービスの充実が図られている。そこで、次の2点について尋ねる。 ① 東深川保育園の廃止に伴う準備の進捗状況と今後の課題 ② 高校生通学費助成制度の実情と今後の課題	市長 部課長	10:20
			市道等の雑草対策について 元乃隅稲成神社や、センザキッチンオープン等の効果に伴い、長門市を訪れる観光客数は飛躍的に増大していると思われるが、長門市を訪れる観光客の方に好印象を持っていただくことが大切である。 その一つとして、交通量の増大している国道191号 316号、それに関連する県道・市道の雑草対策の現状、課題等について尋ねる。	市長 部課長	
3	南野信郎	40分	水産業の再興策について かつて、日本海有数の水産基地であった仙崎も、時代の変遷とともに漁獲量・漁獲高の減少、さらには担い手不足等、さまざまな要因により衰退の一途をたどっており、水産業界を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、何一つ明るい材料がないといっても過言ではない。そこで、長門の水産を取り戻すため、本市として現状をどのように認識され、今後どのような対策を講じられるのかを尋ねる。	市長 部課長	13:00
4	先野正宏	60分	空き家対策について 本市では少子高齢化に伴い人口減少が進む中、倒壊寸前の空き家が増加している。 平成29年12月議会で「長門市空き家等対策の推進に関する条例」が可決されたが、空き家対策の事業の進捗と今後の取り組みについて尋ねる。	市長 部課長	13:50
			あいサポート運動の推進について 誰もが障害のある方への配慮や手助けを行う運動である「あいサポート運動」について、本市でも取り組んでいると思われる。 ついては、本市における「あいサポート運動」の現在の取り組み状況について尋ねる。	市長 部課長	
5	三輪 徹	50分	人口減少、少子高齢化対策について 国難と呼ぶべき人口減少問題に対し、本市においては国の施策の積極的活用や県との密接な連携を図った施策を展開しているが、少子高齢化は確実に進行し、今後さらに深刻な影響が出てくることが予想される。そこで以下の点について伺う。 （１）有効求人倍率が示すように、人手不足が進んでいる。労働力をいかに確保するのか。 （２）子育て世代に選ばれるまちを目指すには、さらに踏み込んだ施策が必要ではないのか。 （３）教育現場では、人口減少、少子高齢化問題を児童・生徒にどのように教えているのか。	市長 教育長 部課長	15:00

平成30年9月5日（水）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
6	林 哲也	70分	地域医療構想について 平成37年(2025年)には、団塊の世代が75歳以上となり、医療需要の増大が見込まれている。平成28年7月に策定された「山口県地域医療構想」に基づき、平成37年に向けた医療提供体制のあるべき姿を示すため、第二次医療圏域ごとの将来構想計画が、各医療圏域ごとに具体化されつつあるが、どこまで進捗しているのか。また、地域医療の現在の課題及び将来構想はその課題に対応するものになっているのか。	市長 部課長	9:30
			障害者福祉の現状と自立支援について 本年3月に第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画が策定され、5つの施策分野ごとに基本的な推進方向と主な取り組みを定めている。計画には「障害のある人の高齢化とともに、その家族介護者の高齢化が進む中で、障害のある人が生涯にわたり地域において安心して自立した生活を送ることができるよう、地域ぐるみでの支援の仕組みが一層必要となる」との現状認識が示されているが、課題解決に向けて具体的にどう取り組んでいくのか。	市長 部課長	
7	有田 茂	50分	棚田の保全管理について 棚田の耕作者が高齢化し耕作放棄する農地が増え続け、手がつけられない状態が進んでいる。その対策について問う。	市長 部課長	10:50
			ため池の保全管理について 本市は中山間地域が多く、ため池も多数ある。しかし、利用されていないため池や、危険な状態にあるため池も存在していると聞いている。これらの今後の対策について問う。	市長 部課長	
8	江原達也	50分	災害に対する課題と体制強化について 7月の西日本豪雨では、洪水被害や土砂災害などで多くの被害が発生した。そして、特に被害が大きかったと言われている倉敷市真備町をはじめ多くの被災地から、災害への備えや災害時における避難体制について多くの課題が突きつけられた。西日本豪雨の被害による教訓を踏まえ、本市の災害に対する課題と今後の体制整備について問う。	市長 部課長	13:00
9	重村法弘	65分	農業振興について 農林水産省の統計によると平成28年の本市における農業産出額は約64億円。そのうち米は14億円、野菜6.6億円、畜産関係はブロイラー、肉用牛を軸に39億円と推計されている。 平成25年に策定されたながと成長戦略にかかげられた農業者年収1,000万円の事業体の倍増や、儲かる農業について、これまでどのように取り組み、今後どのように進めていくのか、市長の见解を尋ねる。 (1) 畜産分野の施策について (2) 平成26年から検討されている「長門市農業振興公社（仮称）」について	市長 部課長	14:00
10	綾城美佳	50分	活力ある地域づくりにについて 平成17年に一市三町が合併し、現在の長門市になって13年が経過した。この間、差異のあった行政サービスの平準化が行われ、一体的なまちづくりに取り組んできたが、とくに旧3町は人口減少が著しく地域の活力が失われているように感じる。また、職員数の減などにより支所機能が低下し、住民にとっては市役所が距離的にも精神的にも遠いものになっているのではないのか。 旧3町における活力ある地域づくりをどのように進めていくのかを問う。	市長 部課長	15:15